国道48号　仲ノ瀬橋技術検討会の概要

1）会議の目的

仲ノ瀬橋は供用後40年以上経過し、これまで補修・補強を実施してきたものの、劣化は年々進行していること、また、設計荷重が TL-20 の橋梁であるため、20tを超える特殊車両は狭隘な県道への迂回を余儀なくされている状況です。

このことから、有識者による「国道48号　仲ノ瀬橋技術検討会」において課題の解消に向けた対策案を議論しました。

2）日時：令和 8 年 3 月13日（金）　10時30分～11時40分

3）場所：仙台河川国道事務所　2F　大会議室

4）委員（有識者）

中沢（なかざわ）　正利（まさとし）　東北学院大学　副学長

武田（たけだ）　三弘（みつひろ）　東北学院大学　工学部環境建設工学科　教授

5）主な検討結果

〇詳細調査結果から**床版内部の鉄筋に腐食が発生している可能性**

〇部分打換や床版補強の対策方法では**床版内部の劣化因子の除去は困難**

〇対策案については、検討結果を踏まえ、**床版の取替が妥当**

国道48号　仲ノ瀬橋（なかのせばし）技術検討会

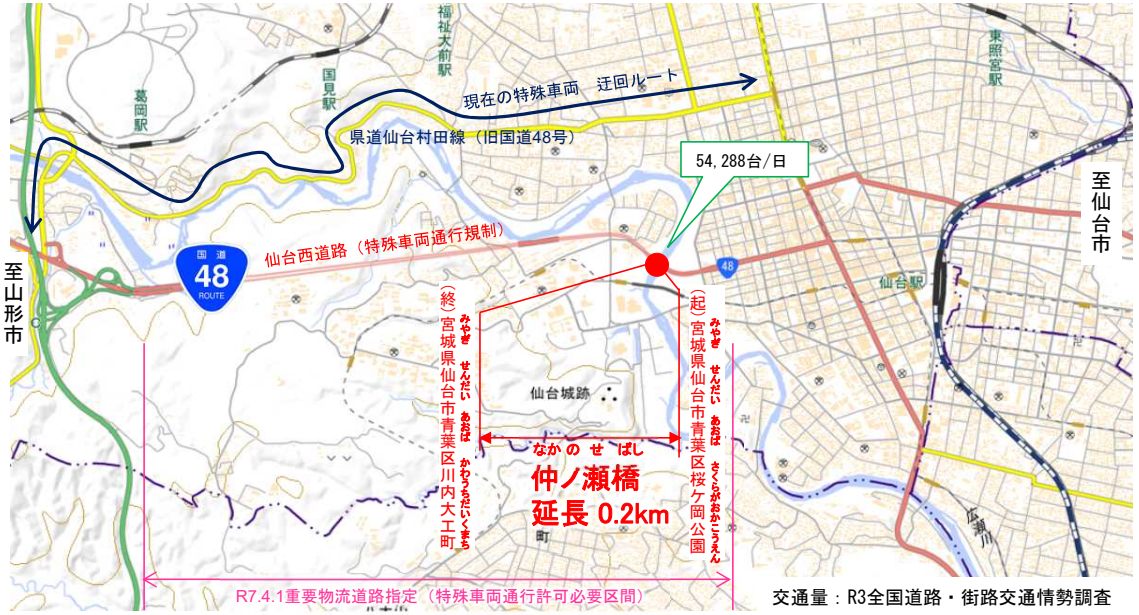
【主な検討結果】

〇詳細調査結果から**床版内部の鉄筋に腐食が発生している可能性**

〇部分打換や床版補強の対策方法では**床版内部の劣化因子の除去は困難**

〇対策案については、検討結果を踏まえ、**床版の取替が妥当**





交通量：R3全国道路・街路交通情勢調査

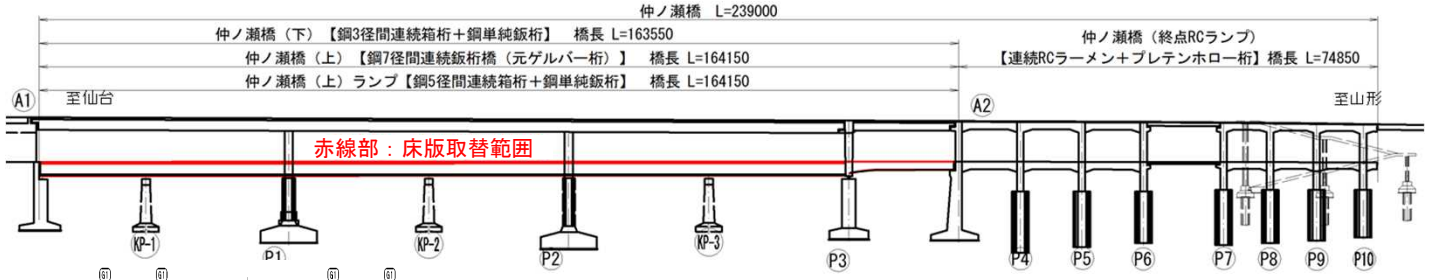


▲ 仲ノ瀬橋（側面全景）

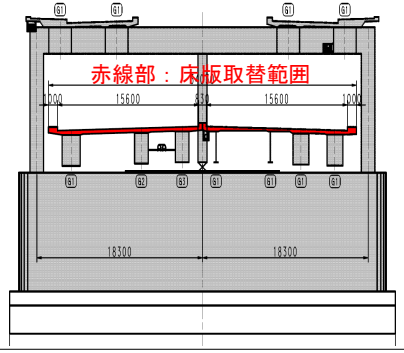


▲ 橋面全景（仙台側より）

側面図



断面図





▲床版下面のひび割れと漏水・遊離石灰



▲ 水平クラックの発生



▲県道31号（ 旧国道48号）の
特殊車両通行状況